

豊川小だより

10月号

ホームページ
QRコード



令和6年10月2日
北区立豊川小学校
校長 中村 順子

スペシャル授業 @明桜中学校

～学校ファミリーの日～

校長 中村 順子

教室での授業は、担任が1人で行うことが通常です。低学年は学力パワーアップ講師が加わって行う授業もありますが、多くても2人までが普通の体制です。しかし、9月18日の「第2回学校ファミリーの日」では、各教室に5～6人、多いところでは10人以上の教員がサポートに入り、本校の児童の学びを支援しました。しかも授業会場は、豊川小ではなく明桜中です！今回は、豊川小の16学級のうち9学級の児童が明桜中に行くという特別な形式の授業を行いました。豊川小の教員がメインの授業者ではありますが、そこに明桜中・王子第一小・柳田小・としま若葉小と、合計5校の教員がサブの授業者となって1時間の学習を支援するという授業形態をとりました。

*

当日、給食を食べ終わった児童たちは、少し緊張した面持ちでランドセルを背負い、明桜中に向かいました。初めて入った明桜中の、大きな、そしてきれいな校舎に驚きながらも、それぞれの授業を行う教室に入りました。授業開始前は、中学生が使う机や広いランチルーム、体育館に戸惑う様子も見られましたが、目の前にいるのは豊川小の教員ですから、生まれればあつという間にリラックス、いつもの雰囲気での授業になりました。

*

授業も中盤になり、ここからが今回のスペシャルとも言える、多くの教員がサポートに入る時間です。国語や算数、社会、外国語活動、生活単元学習などは、グループや個々に教員が付き、時にはアドバイス、時には見守り、また賞賛と、全ての子供たちに細やかな指導がなされました。道徳は、担任が拾い上げた児童の考えを、他の教員が代わりに板書することで、一人でも多くの児童が発言できる時間を確保する工夫をしていました。音楽や体育は、パートや種目ごとに教員が付き、専門的な技能指導をしました。理科では明桜中の教員が、中学校ならではの実験を実演しました。豊川小以外の4校の教員が、自身の専門性を存分に生かしながら支えた1時間でした。

*

授業を終えた児童からは「専門的なコツをたくさん教えてもらった」「困ったときに相談に乗ってもらえてよかった」「先生の説明が分かりやすかった」「すぐにアドバイスをしてもらえたから迷わなかった」「中学生になるのが楽しみになった」などの声が聞かれました。また教員からは「小学校の授業の進め方の流れが理解できた」「中学の先生の技術指導は、自校の児童に指導するときの参考になった」などの他に、「小1のかわいらしさに癒やされた」という感想も寄せられました。児童にとっても、またファミリー校の教員にとっても、大変有意義な「ファミリーの日」になったのではないのでしょうか。

*

ここに至るまでには、夏季休業中などに何度も分科会ごとの検討会が行われ、当日に向けた細やかな準備が行われました。今後もファミリー校とは、同じ地域の児童・生徒を理解し、共に授業を計画・実施することで、さらに連携を深めてまいります。関係校の皆様には心より感謝申し上げます。



4年岩井移動教室

9月20日(金)・21日(土)の2日間、4年生は岩井移動教室として、千葉県にある岩井学園に行きました。「清和県民の森」でのハイキング、「マザー牧場」での動物たちとのふれあい、また学園でのお風呂や「夜の集い」のレクリエーションなどの体験は、初めての宿泊学習として充実した時間となりました。

今回は王子第五小のみなさんと一緒に生活し、合同レクリエーションでは交流を深めることができました。多くの方々と関わり、またお世話になったことで、本校の教育目標である「おかげ」の心をたくさん感じた2日間でした。
4年担任 山根 力

道徳授業地区公開講座

9月7日(土)に、道徳授業地区公開講座を行いました。2校時に、全学級で「主として自分自身に関する事」についての授業を行いました。児童も普段の頑張りを見せようと一生懸命に取り組んでいました。

3校時には、聖徳大学名誉教授の吉本 恒幸先生をお招きして、「今の時代だからこそ求められる心の教育」をテーマにご講演いただきました。

お越しいただきました保護者の皆様、ありがとうございました。道徳担当 増山 麻侑子